

平成29年12月定例教育委員会議事録

(白石町教育委員会会議規則第16条及び第17条の規定により作成)

- 1 日 時 平成29年12月18日(月)午後1時30分
役場3階 会議室4
- 2 出席委員 北村教育長 稲佐委員 下田委員 松尾委員
- 3 事務局職員 吉岡学校教育課長 千布生涯学習課長
石橋主任指導主事 中村指導主事
原学校教育係長 川畑庶務係長
- 4 前回議事録の承認
11月定例教育委員会の会議録 【原案どおり承認】
- 5 教育長の報告 別紙資料のとおり
- 6 会議に付した議案
付議第29号 平成29年度学校訪問について(総括)
付議第30号 準要保護の認定について
付議第31号 小中学校の統合について
- 7 動議の提出者 なし
- 8 議事の概要 別紙資料のとおり
- 9 議決事項 付議第29号から付議第31号すべて議決
- 10 その他
 - ・事務局からの報告
 - ・傍聴者 無し

1 開 会 13:33

石橋主任指導主事

2 前回議事録の承認 13:34

1 1月定例教育委員会の会議録を資料により説明

委員全員承認

3 教育長の報告 13:35

(前回以降の主な動向)

インフルエンザも、また出始めまして白石小学校の4年生が、明日から金曜日まで学級閉鎖です。6年生が月曜日終わりましたが、また引き続き発生しております。広がらなければいいと思っております。

それから一つ心配事ですけど、先日六角で火災が発生しておりますが、その原因が子ども(小学生)の火遊びという事で、先日も廻里津の方でありましたけど、冬休み前に再度、注意が必要な状況であります。

前回以降の主な動向については、14項目起こしておりますが、個々には複唱は避けたいと思います。学校訪問、白石の教育の明日を考える集会等、ご多用の中に繰り合わせの上出席していただきありがとうございます。

(問題行動等報告)

(1) 問題行動

問題行動につきましては、本当にありがたいことですが、依然として報告は受けておりません。

(2) いじめ問題

「いじめ」につきましては、新規に小学校のNo.9の事案が11月2日認知という事になっております。それから、小学校のNo.4と中学校のNo.3、この部分が解消という事になりました。

前月分の資料と変わっているのが、中学校のNo.1・2の事案ですが、これが1件2人という事で、前月までは一つの事案として報告しておりましたが、それぞれ対象者が違うという事で、分けております。1件2人を1件1人ずつに分けておりますので、1事案増えた形になっておりますがそういう状況です。

3か月経っているケースもありますが、もうしばらく関わり合いを持って見守っていきたいという事で、解消の報告がまだ出されていないものが、いくつかあります。

(3) 不登校

今回、新規に中学校のNo.8、1年生の男子生徒が加わりました。先月10日、今月10日という事になっておりますけど、登校出来ているという事で、このまま頑張ってくれればという状況です。

完全不登校が、小学校1、中学校7ありますが、中学校が1人完全不登校が減になっています。前月より改善したというのが、中学校に3件あります。それから、欠席ゼロも3名おりますけど、この生徒につきましては、別室登校とかもう少し配慮を要するという事で、まったく休んでいませんが、引き続きしっかり観察をしていきたい、関りを持っていきたいという事で引き続き掲載をしているところです。

(1 2月定例議会一般質問について)

今回5名の議員さんからご質問をいただきました。

(1) 小中学校の統合について (文教厚生常任委員会代表質問)

委員長の草場議員から答弁は、教育長、町長に限るという事で質問を受けました。これは、委員会でも確認をしていますけど、今後統合に向けて進めるという事で確認をしたところです。ただし、統合は、教育だけの問題ではなく、町づくりの一貫ですので、町をあげて今後の進め方、あるいは、いつごろまでにといった具体的などころを進めるといったところです。併せて、平成26年に現在の白石町総合計画を策定された時に統合についてのアンケートが実施されています。無作為に2,000名に対して実施し、その結果も議会の中で説明をさせていただきました。これについては、後程詳細に説明させていただきます。正式に議会で表明しましたので、放送等見ていただいた方は、白石町もいよいよ、統合の方へ動くんだという事で、意識を高く持ってもらったと思います。

(2) 町を活性化させる取り組みについて (西山議員)

① うたがきロッジ・研修センターを宿泊施設に

うたがきロッジ・研修センターは、これまで水の問題が懸案でした。水が確保できないと、これが改善されまして、飲み水も含めて水も利用できるようになりました。ただし、火の利用ができませんので、そこで自炊をするというようなことはできませんが、水の問題は解決して宿泊施設として利用可能という事になっています。

② パークゴルフ場の距離や難度の改良

パークゴルフ場の距離や難度をもう少し拡大したらという事も出ましたが、ご承知のとおりパークゴルフ場につきましては、今年の9月17日にオープンで、これまで3,600人ほど利用していただいております。まだ、周知等が必要ですけど、当面現行のまま周知を図って利用者の拡大を図っていくという事で答弁をしております。

③ ふるさと納税への協力要請による硬式野球場建設

現在、硬式野球場としての場所を提供しているのは、稲佐グラウンドだけです。硬式ですので、バックネットの痛みとかそういうのがあります。およそ年間20件ほど硬式として利用いただいておりますけど、新しい球場を立て

るとなると膨大な経費が掛かりますので、当面今の施設の利活用を活発にという事で検討するという事で、野球場建設までは考えておりませんといったところで答弁しております。

(3) いじめ・不登校対策について（中村議員）

当教育委員会でもいつも話しておりますけど、未然防止、早期発見、事案対処、発生した事案にどう対処していくか、それから再発防止、こういう事についてご説明をしておりますし、いじめについては、大人の問題でもありますので、できれば、町全体での撲滅宣言あたりも、そういう動きも考えられますけど、その前にまず小中学校で、生徒会、児童会あたりで、撲滅宣言あたりを動いて、その後に町全体を考えるという事で、そういう方向でという事でお答えをしました。

(4) 通学路点検と整備（街灯含む）の必要性について（川崎議員）

これにつきましては、例年5、6月に学校側と総務課、建設課、学校教育課、白石警察署それから、杵藤土木事務所と6団体が一緒に通学路点検をさせていただいております。併せて、冬季に日没が早くなって暗くなりますので、部活終了後の下校ルートの確認等を12月5日から13日にかけて3中学校の下校ルートの確認をさせていただいております。街灯等もあればいいのですが、経費もかかります。太陽光パネルでの街灯、これが今まで防水のものがなかったが、防水のものが出てきたという事で、建設課の方でも試行的に取り付けて、今後、街灯等についても検討してみたいと答弁させていただいております。

(5) 児童生徒への支援の在り方について（重富議員）

①特別に支援を要する児童生徒への支援の状況

現在の特別支援の支援の状況、それから通級、併せてスクールアシスタントの活躍についても説明をしたところです。

②「いじめ」の定義と「いじめ」に対する対応方針

これは、この会でも以前説明をしましたがけれども、文科省が示したものを柱に県でも「いじめ」の定義を下ろされておりますので、それを受けての説明と毎月、この場でも月例報告を出しておりますけれども、その状況等をお知らせしたところです。

③「いじめ」が発生したときの学校と教育委員会の対応

これは、まず学校等で発生した場合は、校内対策委員会が立ち上がって、事情確認とかがなされます。これで全部、特に今年度は終わってますけど、もしこれで手に負えないような事案という事になると、拡大対策委員会というのが開催されます。これは、外部の方に入ってきて、それでもダメな場合はという事で、白石町の学校いじめ問題調査対策委員会があります。これは、弁護士も入ってきております。こういったものも対策の組織と

してございますという事で、お話をしているところです。

(杵西・藤津地域教育長会より)

資料を添付しております。個々の説明は省きますので、ご参照いただければと思います。

(その他)

学校統合に向けてという事で、議会でも出たという事で先ほど申しましたが、今後のことですが、前回も委員さんから基本構想あたりを早く出すべきではないかというご意見もいただきました。現在、教育委員会事務局としての基本構想案を練り上げています。これを1月の定例の教育委員会からお諮りしたいと思います。1回では難しいですので、少なくとも1、2、3月に教育委員さんからもご意見をいただいて、今年度中に教育委員会としての基本構想というのを確立して、まあ、教育委員会の基本構想どおりになるとは限りません。これは、町づくりの一貫ですので、ただ、教育委員会としては、こういう構想を考えておりますという事をきちっと固めて、その先にゆだねたいと思っておりますので、よろしくお願いします。

2点目です。人事異動につきまして、いよいよ動き始めました。教職員の人事異動の異動希望書、これは既に提出済です。1月18日に各学校長と教育事務所長と終日ヒアリングいたします。いよいよ、2月の2日から3月の26日までの間に、都合6回、人事異動協議会というのが開催されますので、これで、人事異動の準備を進めていくこととなりますので、お知らせをしておきます。

4 付議事項の協議 13:54～

付議第29号

平成29年度学校訪問について（総括）

中村指導主事：資料に沿って説明。

委員全員承認（付議第29号）

付議第30号

準用保護の認定について

大川内主任：資料に沿って詳細説明。（3件）

厳正なる審査の結果3件全て認定。

委員全員承認（付議第30号）

付議第31号

小中学校の統合について

吉岡課長：平成26年度「第2次白石町総合計画」を作るにあたっての町民アンケート調査、平成26年9月に実施した町民アンケートの結果について資料により説明。

下田委員：ここの30歳から39歳の「教育環境を考えると1学年当たり…」というところですが、15人で21.4%、下の30人とか34人が18.4%なのに、なんで15人で21.4%に上がるのかなと思います。

吉岡課長：これは、100%が30歳から39歳は、70人ですので、回答が年代別に違いますので、まず、30歳から39歳は、70人から回答があって、そのうち15人ですから21.4%です。今度、50歳から59歳は、回答数が163人あるから30人が18.4%になります。

下田委員：はい。わかりました。

吉岡課長：年代別に抽出数が違いますので、このような数字になります。

稲佐委員：先ほど教育長さんおっしゃったように本町は、それを進めていくという事で決定しています。アンケートを見ていたら半数近くが賛成しているわけです。反対の側が、遠距離になるからという事ですが、これは解消は出来ます。例えばスクールバスを配車すれば解消できますから、割と行けるのではと思います。それともう一つ、アンケートをやたらとしまくとかえってやりにくい場合があります。あまりしない方がいいと思います。

吉岡課長：はい。ありがとうございます。

下田委員：ただ、2,000人にアンケートを配布して、711人の回収率と言ったら、3分の1という事で、回収率が足りてないような気がします。これを、そのまま採用するかとなったら住民の相対的な意見が反映されてないのかもしれないという不安もあります。

吉岡課長：回収率が3分の1という事で、低いとの印象はあります。

稲佐委員：ただ、対象者としては、その傾向として出てくる分については、それで十分ではあります。それだけの人数を対象にしておけばいいのですが、回収率に問題がありますけど。

北村教育長：いずれにしても、統計学的にはこれだけの数でもいいのですが、ただ、反対の方がまだこれだけいらっしゃいますし、よくわからないという方もいらっしゃいますので、やはり、十分今後、説明を尽くしていくことは、避けられないところです。

松尾委員：一つは、住民の方も、本当に直ぐとなった時には、これも分から

ないですし、今のところは、ボヤーっとした感じなので、まあいいかなあと思っらっしゃる方もいらっしゃるでしょうけど、実際に無くなるとなった時には反対に転じる方もいらっしゃるのでは。

稲佐委員：ただ、私がなんとなく、性急にというか結構「早くしなさい」というような声が上がってくると思います。ここ数年、東京オリンピック済んだら「もうやろー」という事になってくる可能性が強いような気がします。おそらく、もう、そうせざるを得ないようになってくると思います。まあ、本町の場合は、横ばいでしたけどね、ここ4、5年は。子供の数はですね、横ばいではあるけれども、当然、準備万端から考えると早急にしないといけないようになってくるかも知れません。

北村教育長：はい。色々ありがとうございます。

委員全員承認（付議第31号）

5 その他

（1）産前休暇前臨時的任用職員について

石橋主任：資料に沿って説明。

（2）平成30年度予算編成方針説明会の報告

川畑係長：資料に沿って説明。

稲佐委員：先ほどのご説明にありました、地方交付税交付金、あるいは、過疎対策費が減額されつつある訳ですよ。それで自主財源があればいいが、なかなか、これも生み出しきれないし、場合によっては地方債を発行するとかそういった考えはないのでしょうか。

川畑係長：先日の財政からの説明会では、そこまでの話はまだもらってません。

稲佐委員：大体、80億前後で年間予算としては、行けるわけですね。

川畑係長：いえ。本当は、白石町の標準的な、人口とか色々構造的には、80億くらいが通常ですよ。ただ、うちの方が色々資料に書いてありますが、そういった事業がまだまだ、ありますので中々歳出を減らすという事は厳しいと、ただ、今言ったように合併特例債とかがなくなってきた、これを乗り越えないといけないという事で、急には減らせないという事で、学校教育課の方も学校に少しづつという事で今回も10%から15%削減をお願いしています。

稲佐委員：32年までは、なんぼかある訳ですよ。

川畑係長：そうですね。前回も説明したと思いますけど、前はドンと下がるというのが、緩やかにはなっております。

稲佐委員：まあ、それがあからいづらか助かりますね。ドンと行かれたらどうしようもないですから。

北村教育長：稲佐委員さんからも出てますけど、先日の新聞で合併特例債の5年延長が載っていたと思いますけど、今、自民党の方で来年度の議員立法の方で出すという事で、出ています。これは7割国が負担してくれておりますので、これが通ると少しは楽になるというようなところですよ。

下田委員：先ほど、経費の10%から15%削減というお話が出ていたんですが、これが、直接子どもたちに影響があるという削減は、どうなのかが考えられますか。

吉岡課長：直接といいますか、先ほどの要保護とかには直接影響してきませんが、やっぱりパソコンの配置とか、それとか消耗品とかそういうところは、縮小になってくると思います。

下田委員：15%でどれくらいになりますかね。

原 係長：合計で340万円くらいです。先ほど言いましたように、消耗品と備品購入費、印刷製本費それと図書購入費ですね、その辺をフレーム枠という事でうちの方で計算して、生徒数割、学級数割で打ち出してやっているのですが、ただ、学校によって40万円近く落ちているところもありますけれども、これは、学校側も予想されていて、十分対応できるという事でクレーム等は出てきていない状況なので、大丈夫とは思っております。

(3) 福富小・中学校の小中一貫教育の実施について

吉岡課長：この件につきましては、まだ、検討が必要になりましたので、今日の説明は保留にさせていただきます。申し訳ございません。

(4) 福富中学校の給食調理室を廃止することについて

吉岡課長：福富中学校の給食調理室につきまして、廃止することになりましたので、その御報告でございます。前からお話をしておりましたが、白石町の本年度の学校給食につきましては、調理員が施設に見合う人数が今年確保できませんで、それで緊急的な措置としまして一番食数が少なかった福富中学校の副食を白石中学校の横にあります給食センターの方で調理をしております。あくまで、これは緊急的な措置ではあったのですが、その後給食調理員の募集を続けて、全戸回覧をしたりとか、納入組合さんからご協力をいただいて、250枚

のチラシを関係のところにお配りしたりしましたが、結局は、今日現在も2人足りない状態に来ておまして、この調理員の人数確保につきましては、待遇改善を含めて検討をしておりますけど、新聞によく載っています人手不足という状況で、2、3人は雇用通知も出して、制服も長靴も買った状態になって、何日から来ますよ、とになって結局、今の会社が辞めれないとか、泣き落としになってとか自分より先に2人辞められてしまったとかで、その方が特に子供が小さいから、土日が休みで夏休みがあるところがいいという事で、うちの方を希望されましたが、そういう辞退が続いている状況です。この状況を見ますと、来年度、30年度に平成28年度の福富中学校の給食もあつた状態での調理員を確保するのが困難だという判断をしまして、まずは、来年度の福富中学校の再開は無理である。ただ、これがここ数年で回復する状況とはちょっと、来年はもっとひどくなると今日の新聞にも載ってましたけど、それが1点と、もう一つが、今現在、福富中学校の給食調理室は、再開できるように冷蔵庫等の電源を入れたままにしておりまして、電源を入れたままでも、結局、物の出入れがないとか、人間が触ってないとカビが発生していくという事がございます。それから、給食室そのものに埃が溜まる。それから、害虫の防除も定期的なものも、今やめておりますので、害虫、虫がだんだん、だんだん住んでいくという事で毎年、毎年、来年は、来年はと期待を持って維持をしていくのは困難であるという判断をいたしまして、それから、現在、福富中学校の生徒さん達には、給食を配食して8カ月が経過しておりますけど、特に問題なく食べていただいております。本当においしいと言っているだけで、そういう事で、来年度以降も給食室の復活を考えず、完全閉鎖という事で、まず学校の方、それから保護者、そして、学校運営協議会の方にもお諮りしましたところ、特に異論はありませんでしたので、この決定を先日いたしたところでございます。そういう事で、ご報告でございます。

松尾委員：廃止されて、その給食室はどういう風な？

吉岡課長：一つは、今検討しているのは、空き部屋になるというのはあれですので、福富中学校の技術家庭科室がだいぶ傷んでいて、半分使用が出来ない状態なのですが、それを解体して新築しようと思ったのですが、そこの調理室が技術家庭科室に転用できるのであればと検討をしまして、やはり、普通教室より調理室は大きいわけです。それから、設備的にも可能であつたし、出入り口も確保できるという事でしたので、今、そちらの方で具体的なことを進めて、出来たら

来年、そちらを改装にしようかと思っております。学校の方も技術家庭科室が別棟にあるより、中にあった方がいいという事でありました。

(5) 1月行事予定表

川畑係長：資料に沿って説明。

稲佐委員：成人式の場所は？

川畑係長：ふれあい郷自由館です。

(6) 立志式について

吉岡課長：追加をいたしまして、(6)に立志式について、説明をいたします。

原 係長：先ほど行事予定で川畑からもお話がありましたが、1月9日立志式となっております。前回の教育委員会でもお示ししましたけれども10時半からですのでよろしくお願いいたします。教育委員会の委員の皆様につきましては、開会が大串委員、閉会をいつも通りに稲佐職務代理にお願いしております。どうぞよろしくお願いいたします。

吉岡課長：以上、予定しておりました議事は終了いたします。何か他にありませんでしょうか。

松尾委員：先日、教育の日に議員さんから「どことこの学校が学級閉鎖したのでしょ？」と話をいただいたのですが、私たち何も知らなかったもので、もしよかったら、そういう情報なんかは、メールか何かでいただけたら私たちも答えられるので、簡単で構いませんのでそういう情報があればと思いましたのでよろしくお願いいたします。

稲佐委員：私も松尾委員と話しておりましたが、以前は電話をいただいておりますが、無いものですから向こうから言われて、そうなんですなという感じでした。

松尾委員：もう、電話とかでなくてもメールでも構わないので、そういう情報だけわかればなと思います。

吉岡課長：今の件ですけど、先週まで北明小学校の5年生とそれから、時期はずれてますけど白石小学校の6年生が学級閉鎖がございました。明日から19、20、21と白石小学校の4年生がまたインフルエンザで学級閉鎖になっております。

次回教育委員会の決定

教育委員会 平成30年1月22日(月)午前9時30分

吉岡課長：大串委員さんの任期が、2月16日までになっておりまして、次

の委員さんという事でございましたので、この間の議会で須古の堤王宏（つつみきみひろ）さんという方が、執行部の方から提案がありまして、議会の方から承認となっております。堤王宏さんについては、歯医者さんです。こちらの方でスポーツ推進員とか児童のかけっこクラブのコーチとか色々なことをされております。そのことで、2月の教育委員会ですが、先ほど申しましたように任期が2月16日までで、17日からが新任期でございます。本来は2月17日に堤さんの方に辞令交付をしなければいけないのですが、この日が土曜日という事になっておりまして、それでご提案ですが、16日金曜日に教育委員会を開いていただいて、その時点では、大串委員さんが委員としてご出席いただいて、堤委員さんには辞令交付を行う。ただその日は、任期ではございませんので、傍聴という形で教育委員会を聞いていただくという事でどうでしょうかという事です。または、19日という事ですが、まずは、大串委員さんが最後の任期でございますので。その辺り大丈夫でございましたら大串委員さんに最終的に確認しまして決定したいと思います。

6 閉 会 15:00

吉岡学校教育課長